

令和2年度 よく学び 心ゆたかに やりぬく子



新座小だより 5月号

開校17年目

〒352-0006 埼玉県新座市新座3-4-1
TEL 048-478-2760 FAX 048-482-6791
HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

全児童数：303名

大きな花を咲かせるために
～ 美しく・温かく・常に前進 新座小学校 ～

校長 齊藤 直之

5月になりましたが、このような状況下では、学校を開校することができないことにご理解いただければと存じます。そして、今は、予断を許さない状況であることに、変わりはありません。家庭におかれましては、引き続き、日々の生活リズムの確立とともに、ご家庭での検温等、体調管理についてご協力をお願いいたします。

今回の長い休校期間中は、緊急事態でしたので、本校の教職員も自宅での研修を推奨するとともに、学校への通勤を制限する等、三密を防ぐ対応策を講じながら、日々の勤務を行っております。今後も、子供たちの様子を伺うなど、定期的に家庭との連絡を取らせていただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。ご家庭で心配な点がございましたら、遠慮なく学校へご相談ください。

そのような中、改めて感じたのは、学校に子供が来られない状況下になった場合、どういった形式で教育を提供できるのかといった問題です。日頃から、現代は、ネットワーク社会であるとはよく言われてはいましたが、いざ、このような状況になったとき、学校からの発信するツールには、限りがあることを痛感いたしました。スクールメールでは、言葉だけの一方的なものですので、詳細についてまでお伝えするには、無理な場合があります。その他のツールも多々ありますが、全てのご家庭に同じように、情報や資料を提供するといったことには、多くの課題があります。

インターネットの環境には、様々なデジタルコンテンツが用意されていますが、そのコンテンツを利用できるご家庭は、どれだけあるのでしょうか。まずは、家庭にそれを利用できる環境がなければなりません。また、プリントをやってみたくと思ったときに、パソ

コンがあることと併せて、プリンターも必要となります。

全てのご家庭でそれらを揃えることにも限界があります。今後、そういった状況における教育の提供の在り方、学校からの発信等をどう行うのか、多くの課題として、考えさせられる事態となりました。

学校といたしましては、学校再開に向けて、今できることを確実に、丁寧に行うこと。そして、ご家庭にお知らせできることは、誠心誠意をもって、随時お伝えしていくことを一番に、今後の対応をさせていただきます。

今回の長い外出自粛の日々を、皆さんはどのように捉えたのでしょうか。今の現状をどう捉え、今ある時間をどう使うのか、自分自身を見つめ直す上でも、改めてプラス思考の大切さを感じています。

一人一人の行動が、一人一人の我慢が、日本国中で試されているとも言えます。

「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花を咲かせるために。」

この言葉は、度重なる怪我での時代は終わったともささやかれましたが、強行出場した復帰戦の2005年東京国際女子マラソンでは、オリンピックのときのようなラストスパートをかけ、見事に復活優勝を成し遂げた高橋尚子さんの座右の銘です。

高橋さんのマラソン人生を振り返ってみてもわかるように、最初から花が咲くことも、花が絶えず咲き続けることも難しい。陽の光を浴び、水を吸収ししっかり根を張り成長してこそ、大きな美しい花が咲く。マラソンや筋トレのように常に数字がつきまとうと結果が出ないと焦ったり、諦めたりしなくなりがちだが、苦しいときに踏ん張るからこそ、根が伸びる。根を伸ばすことをやめなければ、やがて大きな花が咲くということなのです。

私は、この言葉に強く惹かれました。